

RE:START

2025/1/24 No.24
JR東労組 青年連絡協議会
発行責任者 宮下 洋介

JR 東労組青年連絡協議会 系統別(工務)意見交換会開催!



1月20日、本部会議室にて「JR東労組青年連絡協議会第14回系統別(工務)意見交換会」を開催し、各地から工務の仲間を中心に10名の仲間が集まり、職場問題や新施策、2025春のたたかいなどの意見交換を行いました。※本部青年部の時から継続しているため開催回数は通算

職場問題の議論では、要員不足が大きな問題になっており、年間の時間外労働が330時間に迫っている社員・組合員が多くいる実態や退職者が後を絶たない現実が出されました。一方管理者は「効率化をすれば、今の人数で回る」等と発言している実態も出されました。教育体制も不十分であり、異動があったり、応援の社員が来たりしても、教える側の人がないという問題も出されました。現場では多くの問題を抱えて苦労している現実を議論しました。

年末に提案された「在来線保線部門の将来ビジョンの実現に向けた組織の見直しについて」の議論においては、「人が少ないから1人が複数の業務をできるようにするのはではないか?」「働く自分たちの為になる施策ではない」「線区のプロがいなくなる、特情を把握していない社員が増え、大根原踏切事故のような大事故が起こるのではないか」等といった意見が出されました。一方職場では、自分に関係する施策かどうかもわかっていない社員がいること、説明会で質問しても答えられない管理者がいる実態が出されました。

意見交換会で議論した内容を各地に持ち帰り、伝え広めていくことを確認しました。

**職場問題・施策について、本音の議論ができるのは
東労組の強み! 東労組に結集しよう!**

